

ひょうごの景観ビューポイント 150 選 一覧

神戸・阪神エリア	・ ・ ・ ・ ・ P. 1
播磨エリア	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
但馬エリア	・ ・ ・ ・ ・ P. 16
丹波エリア	・ ・ ・ ・ ・ P. 20
淡路エリア	・ ・ ・ ・ ・ P. 22

<注意事項>

- ・掲載内容は、平成 30 年 6 月時点のものです。
- ・応募時の「ビューポイント」「見えるもの」「PRポイント」について、よりの確でわかりやすい表現に修正しているものがあります。
- ・応募時の写真について、応募者が PR ポイントに記載した意図がより適切に伝わるよう、写真を差し替えたものがあります。

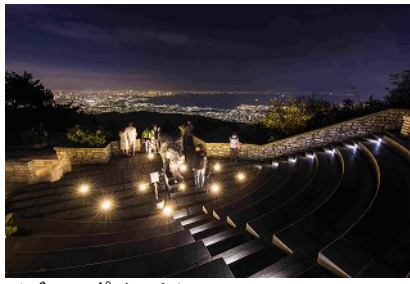
●神戸市（16件）



<ビューポイント>
摩耶山・掬星台

<見えるもの>
阪神間・大阪方面の夜景

<PRポイント>
摩耶ロープウェー「星の駅」横の掬星台から、ハーバーランドから東側の阪神間及び大阪方面の市街地、臨海部、大阪湾を一望できます。また掬星台は、神戸を代表する夜景のビューポイントでもあります。



<ビューポイント>
六甲ガーデンテラス

<見えるもの>
見晴らしのテラスと神戸・大阪方面の夜景

<PRポイント>
夜景を楽しむために抑えられた照明なので、眼下に広がる大都市のキラメキを心地よく眺めていられる。また、曲線を描く大阪湾が都市夜景を美しくシェイプアップしている。



<ビューポイント>
キャナルプロムナード

<見えるもの>
新川運河（兵庫運河）の夜景

<PRポイント>
この地は兵庫県庁跡でこの度北前船日本遺産に認定された地域です。都市部近くにありながら、なぜかほっとするレトロモダンな運河の情景は、歴史を感じさせます。



<ビューポイント>
須磨浦山上遊園の回転展望閣

<見えるもの>
須磨から大阪までの湾岸地帯

<PRポイント>
須磨浦山上遊園回転展望閣（鉢伏山）からの眺望景観で、北側の山頂部を除いて眺望があり、東は須磨海浜公園から大阪方面、西は塩屋、垂水から明石海峡、淡路島まで見渡せます。



<ビューポイント>
須磨アルプス

<見えるもの>
六甲山系の岩稜（馬の背）地帯

<PRポイント>
須磨アルプスはスリル満点の迫力です。



<ビューポイント>
五色塚古墳の後円部墳頂

<見えるもの>
淡路島と明石海峡

<PRポイント>
兵庫県最大規模の古墳で、形状は前方後円墳。



<ビューポイント>
有馬温泉街

<見えるもの>
温泉街のまちなみ

<PRポイント>
六甲山の北麓に位置する、日本三大古湯、日本三名泉の一つに挙げられる有馬温泉。豊臣秀吉が愛したことで知られており、現在でも昔ながらの情緒あふれる温泉街が広がります。



<ビューポイント>
メリケンパーク

<見えるもの>
ポートタワーと神戸海洋科学博物館の夜景

<PRポイント>
いつもその場所にあり、夜には時期によってライトアップが違うのでいつ行っても楽しめる。



<ビューポイント>
ポートアイランド西緑地

<見えるもの>
明石海峡に沈む夕日

<PRポイント>
2月と10月頃限定になりますが、明石海峡に沈む夕陽が見れます。条件が揃えば、だるま夕陽になります。



<ビューポイント>
大丸神戸店

<見えるもの>
居留地の雰囲気漂う回廊

<PRポイント>
阪神淡路大震災からの復興において、地区計画に基づき歩道と一体となった回廊空間が整備されている。



<ビューポイント>
北野天満神社

<見えるもの>
異人館街風見鶏の館とみなとまち神戸

<PRポイント>
異国情緒あふれる、みなとまち神戸の象徴となる風見鶏の館やポートタワーなどを一望できます。



<ビューポイント>
ヴィーナステラス

<見えるもの>
六甲アイランドから須磨にいたる市街地

<PRポイント>
都心部、海までの距離が近く、六甲アイランドから須磨にいたる市街地や港、大阪湾を一望することができます。よく晴れた日には紀伊半島までも見晴らすことができ、まさに神戸を代表するビューポイントです。また夜には、眼下に広がる建物の灯りや、メリケンパーク、ハーバーランド、東西に広がる神戸の市街地を見渡すことができます。



<ビューポイント>
布引ハーブ園の風の丘

<見えるもの>
神戸の市街地と神戸港

<PRポイント>
同じ視線上に花、人、街、海、空港が入る場所はそうそうないと思います。神戸らしい風景です。



<ビューポイント>
南京町の西安門付近

<見えるもの>
中華街のまちなみ

<PRポイント>
横浜、長崎と並ぶ日本3大中華街のひとつ。本場仕込みの飲食店や雑貨店など、100店舗以上が軒を連ね、いつも活気に満ちています。



<ビューポイント>
ポーアイしおさい公園

<見えるもの>
山並みを背景とした都心部や港の風景

<PRポイント>
山並みを背景とした都心部の高層ビル群、ポートタワーや市章山・錨山など神戸を代表するシンボル、また、ドック・クレーンなど港の風景を一望することができます。港町神戸を感じることができるビューポイントです。ポーアイしおさい公園からの夜景は、「神戸都心夜景10選」にも選ばれています。



<ビューポイント>
雌岡山神出神社の展望台

<見えるもの>
田園風景と明石海峡大橋

<PRポイント>
子午線東経135度がとおる神出神社からの景観で手前は黒米の田園絵画そして向こうには明石海峡大橋が見えます。

●尼崎市（3件）



＜ビューポイント＞
長遠寺の山門前

＜見えるもの＞
寺町のまちなみ

＜PRポイント＞
寺町は、尼崎がかつて城下町であった面影を今に伝える歴史的、伝統的なまちなみ景観を呈しており、文化財の宝庫となっています。



＜ビューポイント＞
庄下川に架かる開明橋

＜見えるもの＞
尼崎城を彷彿させる石垣風の塀や中央図書館

＜PRポイント＞
庄下川沿いに立ち並ぶ、中央図書館やタワーマンション。著名な設計事務所が手掛けたシンボリックな建物とかつての尼崎城を彷彿させる塀は、見ていて気持ちがよくなります。

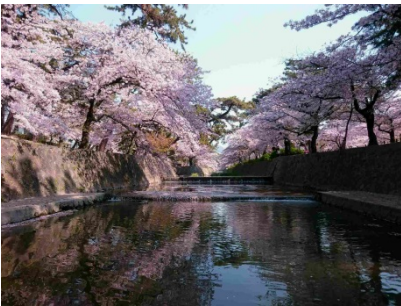


＜ビューポイント＞
尼崎の森中央緑地パークセンター付近

＜見えるもの＞
臨海部に出現した大芝生広場

＜PRポイント＞
尼崎臨海部に広がる広大な芝生広場と青空のコントラストは尼崎の景観のひとつ。

●西宮市（4件）



＜ビューポイント＞
夙川公園の阪急苦楽園口駅付近

＜見えるもの＞
夙川と桜並木

＜PRポイント＞
定番のお花見スポット。早朝は、水の流れる音以外静かでゆったりとした時間を過ごすことができます。



＜ビューポイント＞
夙川公園のこほろぎ橋付近

＜見えるもの＞
こほろぎ橋と川の水辺

＜PRポイント＞
夙川にかかるアーチ状が印象的な橋は西宮らしい景観のひとつ。



＜ビューポイント＞
香榎園浜の砂浜

＜見えるもの＞
対岸に見える高層団地群

＜PRポイント＞
夕日に映える水面と幾何学的な高層団地群は西宮の景観のひとつ。



＜ビューポイント＞
廣田神社参道一の鳥居付近

＜見えるもの＞
石畳参道の松並木と周辺のまちなみ

＜PRポイント＞
往時の姿を取り戻した約 500m の石畳と松並木。荒廃していた参道松並木が甦り、景観に配慮した隣接のまちなみへと普及した。

●芦屋市（2件）



<ビューポイント>
芦屋川に架かる公光橋

<見えるもの>
芦屋川と六甲山

<PRポイント>
芦屋川と六甲山を一体に感じることができ、電柱・電線のない両岸道路には、歴史的・景観的に重要な建造物も多い。



<ビューポイント>
市立潮芦屋交流センター裏

<見えるもの>
芦屋マリーナと芦屋ベイヨート倶楽部

<PRポイント>
係留施設付き住宅を横目に、ヨットハーバーを眺めながら散歩すると非日常を感じられる場所。船をモチーフにしたホテルが開業し、新たな景観スポットとして期待される。

●伊丹市（3件）



<ビューポイント>
市景観重要建造物「長寿蔵」前

<見えるもの>
酒蔵通りのまちなみ

<PRポイント>
有岡城跡、本泉寺、大溝の再現や長寿蔵などの景観資源が立地し、さらに歴史性を取り入れた新しい建物がにぎわいを演出し、伊丹の顔となる歩いて楽しいストリートである。



<ビューポイント>
金剛院の山門前

<見えるもの>
猪名野神社参道のまちなみ

<PRポイント>
伊丹郷町の北部に位置し、商業を中心に発達したまちとして長い歴史を持つ。金剛院、猪名野神社等の歴史的建造物があり、歴史的なまちなみが残されている。

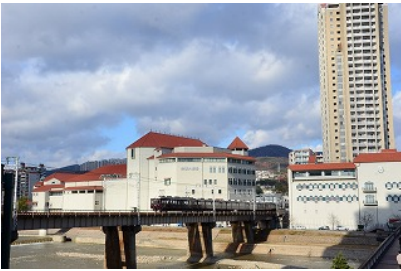


<ビューポイント>
昆陽池公園の草生地広場

<見えるもの>
山並みを背景に野鳥が飛び交う水辺

<PRポイント>
関西屈指の渡り鳥の飛来地として、秋から冬にかけてたくさんの野鳥が集まる。池のほわりには西日本最大級を誇るチョウ温室がある昆虫館もあり、多くの子ども達で賑わう。

●宝塚市（3件）



<ビューポイント>
宝塚大橋南詰

<見えるもの>
宝塚大劇場と阪急電車

<PRポイント>
武庫川の豊かな自然環境と文化芸術の代表と言える宝塚大劇場を一望できます。



<ビューポイント>
JR福知山線廃線跡の展望広場

<見えるもの>
新緑の武庫川沿いの風景

<PRポイント>
1986年に電化複線化によるルート変更で廃線になった武庫川沿いJR福知山線廃線敷は絶好のハイキングコースになっていますが、新緑の風景がいちばん良いかと思えます。



<ビューポイント>
阪急逆瀬川駅西の逆瀬川に架かる橋

<見えるもの>
逆瀬川と甲山

<PRポイント>
阪急逆瀬川駅から逆瀬川の上流へと向かって行くと、ちょうど正面に甲山を見ることができる。自然環境と住宅とが調和した宝塚らしい景観と言えます。

●川西市（2件）



<ビューポイント>
妙見山上杉根根ハイキングコース

<見えるもの>
日本一と称される里山「黒川」

<PRポイント>
日本一の里山と称される黒川は、今でも一庫炭を産出するために利用されている里山です。輪伐によって、モザイク状の昔ながらの里山景観を見ることができます。



<ビューポイント>
光遍寺北側の道路わき

<見えるもの>
夢勝庵と田んぼ

<PRポイント>
能勢電鉄多田駅から歩いて8分。住宅街に突然現れる田んぼと旧庄屋敷。猪名川を挟んで西側には、清和源氏発祥の地「多田神社」がある。田んぼの維持が支える景観。

●三田市（6件）



＜ビューポイント＞
有馬富士公園の福島大池付近

＜見えるもの＞
有馬富士と福島大池

＜PRポイント＞
周辺が自然公園として整備され、桜や福島大池、そして野鳥の観察など見どころも多い。池を隔てて正面に有馬富士が望まれ、湖面に映った逆さ富士がさざ波に揺れる景色は、まさに逸品と言える。



＜ビューポイント＞
三田本町センター街

＜見えるもの＞
城下町の古いまちなみ

＜PRポイント＞
旧三田藩の城下町として発展してきた歴史ある本町通り。通りには、町家など本市が誇る古いまちなみが数多く残されており、往時をしのぶことができる。



＜ビューポイント＞
花山院菩提寺の展望所

＜見えるもの＞
有馬富士、播磨平野や明石海峡

＜PRポイント＞
西国三十三ヶ所巡礼は我が国最古で、中興した花山法皇の菩提寺が花山院にあり、一面霧に覆われた山の麓、有馬富士等の景観は変わらず、御詠歌にもあります。「有馬富士麓の霧は海に似て波かと聞けば小野の松風」



＜ビューポイント＞
観福の森「とりで広場」

＜見えるもの＞
里山林に囲まれた田園風景

＜PRポイント＞
この森は薪や炭などの燃料を得るなど、昔から人々と深く関わってきた里山林であり、山頂にある「とりで広場」からは、大船山や羽東山、高平地区に広がるのどかな田園風景が一望できる。



＜ビューポイント＞
三輪神社参道

＜見えるもの＞
三輪神社と参道沿いのまちなみ

＜PRポイント＞
門前町として栄えた界隈は、今では落ち着いた風情を醸し出している。長い歴史の中で、まちなみは徐々に変化しつつも、町家が立ち並ぶ味わいは、未だに消えていない。



＜ビューポイント＞
あかしあ台公園南側入口付近

＜見えるもの＞
センチュリー大橋と背後の山並み

＜PRポイント＞
ウッディタウンのモニュメントとして有名なセンチュリー大橋。その背後には山並み(武庫川山麓ベルト等)がそびえたち、自然と人工物が融合している様に魅了される。

●猪名川町（2件）



＜ビューポイント＞
大野山山頂

＜見えるもの＞
猪名川天文台「アストロピア」

＜PRポイント＞
大野アルプスランド「標高753m」は阪神地域最高峰と言われるだけに、山頂に登ると、アルプスにでも来たような気持ちになります。



＜ビューポイント＞
銀山代官所の門付近

＜見えるもの＞
多田銀銅山のまちなみ

＜PRポイント＞
昔は銀山三千軒と言われた多田銀山の街道。現在でも漆喰の塀などが立ち並んだ古いまちなみを見ることができる。

●明石市（4件）



<ビューポイント>
JR明石駅のホーム

<見えるもの>
明石城

<PRポイント>

平成29年11月にJR明石駅のケーブル線が撤去され、北側の景観がとってもしっかりしました。第66回日本観光ポスターコンクール入賞のあの眺めそのものが楽しめます。



<ビューポイント>
大蔵海岸の遊歩道

<見えるもの>
大蔵海岸と明石海峡大橋

<PRポイント>

「わがまちあかし十景」のひとつである「大蔵海岸」から明石海峡大橋を望む眺め。



<ビューポイント>
江井島海岸の遊歩道

<見えるもの>
ヤシの木と明石海峡

<PRポイント>

道沿いにヤシの木が立ち並び、南国ムード漂う海岸。



<ビューポイント>
明石城「櫓の間」にある展望台

<見えるもの>
櫓と明石駅南の再開発ビル群

<PRポイント>

明石の歴史をいまに伝える明石城の櫓のもとにある展望台から望む現在の明石のまちなみ。

●加古川市（3件）



<ビューポイント>
鶴林寺仁王門前

<見えるもの>
鶴林寺仁王門と三重塔

<PRポイント>

鶴林寺及び風致公園を中心とした周囲のまちなみは、歴史を感じる落ち着いた生活空間が広がり、緑豊かで眺望性に優れた沿道環境、潤いある水場空間が形成されています。



<ビューポイント>
高御位山山頂

<見えるもの>
加古川・高砂の両市に跨がる市街地

<PRポイント>

高御位山は、加古川市と高砂市との市境にある山で、「播磨富士」とも呼ばれています。山頂からの見晴らしは抜群で、天気の良いれば遠く淡路・四国まで見渡せ、毎年元旦には御来光を見るために多くの参拝者で賑わいます。



<ビューポイント>
国包の鉄橋わきの加古川左岸

<見えるもの>
国包の鉄橋と加古川

<PRポイント>

JR加古川線の国包の鉄橋。大正2年、当時の播州鉄道開通時に架けられたそうで、中央部の橋梁は昭和61年のものだそうです。

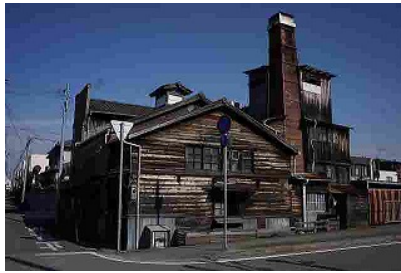
●高砂市（3件）



<ビューポイント>
工楽松右衛門旧宅前

<見えるもの>
海運で栄えた港町のまちなみ

<PRポイント>
この建物は、江戸時代に海運業や港湾改修などをおこなった工楽松右衛門の居宅であり、加古川舟運や海運の港町として繁栄した高砂にある。



<ビューポイント>
梅ヶ枝湯前

<見えるもの>
昭和を感じるレトロなまちなみ

<PRポイント>
昔ながらの街にタイムスリップしたような錯覚を覚える景観。



<ビューポイント>
宝殿山山頂

<見えるもの>
伊保港沖に浮かぶ「ほうらく島」

<PRポイント>
潮干狩りに行った際に沖に浮かんで眺められた小島のほうらく島。今、多くの人家と工場に囲まれた伊保港沖に浮かぶ島を眺め、古代の人に映ったロマンを馳せることができる。

●稲美町（1件）



<ビューポイント>
加古大池の遊歩道

<見えるもの>
加古大池

<PRポイント>
兵庫県内で最も大きなため池である加古大池は、ため池整備によって発展してきた稲美町のシンボリック存在。

●播磨町（1件）



<ビューポイント>
大中遺跡公園

<見えるもの>
緑の中に建つ古代建造物群

<PRポイント>
青々と茂る緑の中にみえるのは、復元された竪穴式住居です。まるでタイムスリップしたかのような空間になっています。

●西脇市（3件）



<ビューポイント>
矢筈山山頂

<見えるもの>
六甲・西脇・丹波の山並みと雲海

<PRポイント>
眼下には西脇市街を一望に、遠くは淡路島、明石海峡大橋、六甲連山そして西脇市と丹波地方の美しい山並み、また春秋冬の朝によく見られる雲海等、四季を通じて素晴らしい景色を楽しめます。



<ビューポイント>
播州織工房館前

<見えるもの>
のこぎり屋根が特徴的なまちなみ

<PRポイント>
播州織工房館は「のこぎり屋根」が特徴の閉鎖された木造の織物工場を改装・再生し、平成19年度にオープンした施設で、まちの交流拠点として「播州織」の情報発信を行っています。市内随所で播州織工房館のような、のこぎり屋根の織物工場を見ることができます。



<ビューポイント>
比延山の三角点・大岩壁

<見えるもの>
野村・西脇城跡を含む市街地

<PRポイント>
比延山城跡は、南郭と北郭の二つの郭からなる連郭構造をなしており、何段かの段差がはっきりと見てとれる状態で残っています。そして北郭の奥には大岩壁が大きく突き出しています。山頂の巨大岩に腰掛け、さわやかな風に身をさらしつつ、西脇市内を一望すると、野村城跡だけでなく西脇城跡も望むことができます。

●三木市（3件）



<ビューポイント>
芝町公民館付近

<見えるもの>
旧湯の山街道の古いまちなみ

<PRポイント>
湯の山街道には昔ながらの家屋が点在しています。



<ビューポイント>
旧湯の山街道の大塚薬師堂前

<見えるもの>
歴史街道芝町・平山地区のまちなみ

<PRポイント>
県の景観形成重要建造物に指定されている稲見酒造、三宅徳松商店をはじめ伝統的なまちなみが残る街道で、住民主体の取組みにより景観形成等住民協定地区に認定されています。



<ビューポイント>
正法寺山展望広場

<見えるもの>
厄神鉄橋の夕焼けの景色

<PRポイント>
厄神鉄橋と加古川一带を見渡せます。快晴時は、播磨工業地帯、明石海峡大橋も見えます。特に夕焼け時に厄神鉄橋を通る加古川線ワンマンカーも風情があります。

●小野市（1件）



<ビューポイント>
八柱神社付近の農道

<見えるもの>
水田と鎮守の森がつくる「ジブリの森」

<PRポイント>
水田に鎮守の森！まるでジブリの世界の様です。

●加西市（3件）



<ビューポイント>

国登録文化財「水田家住宅」付近

<見えるもの>

旧丹波街道の古いまちなみ

<PRポイント>

北条は京都や大阪、姫路等への街道の中継地として栄え、この場所は江戸から昭和初期の民家が集積し、かつての繁栄をよく伝え、緩やかにカーブしながら続く景観が美しい。



<ビューポイント>

西岸寺前

<見えるもの>

寺町通りのまちなみ

<PRポイント>

にぎわいのあった旧街道から一歩中に入ると、3つのお寺が並んでいます。迷子になるような風情のある路地です。



<ビューポイント>

鶉野町のため池

<見えるもの>

ため池越しに望む善防山

<PRポイント>

加西市には溜め池が数多く点在していますが、その中でも穴場のスポットから善防山を撮影しました。高原にいるのかと錯覚するような景色を楽しんで頂けます。

●加東市（1件）



<ビューポイント>

闘竜すくえあ（公園）

<見えるもの>

迫力あふれる奇岩「闘竜灘」

<PRポイント>

迫力あふれる闘竜灘。雨が降り、水量が多くなると、より迫力が増します。岩場から見える赤い闘龍橋が写真のアクセントに。

●多可町（1件）



<ビューポイント>

岩座神公会堂付近

<見えるもの>

反りが美しい棚田の石積みと集落風景

<PRポイント>

寺勾配の反りの美しさと農作業の足場となる荷重（にんじゅう：石積みから突き出た飛び石）の置かれた石積みを仰観できる棚田風景はここ岩座神だけのビューポイント。

●姫路市（3件）



<ビューポイント>
J R姫路駅前の展望台キャッスルビュー

<見えるもの>
大手前通りと姫路城

<PRポイント>
姫路城の世界遺産登録を記念して選定された姫路城十景のひとつ。



<ビューポイント>
市立美術館前

<見えるもの>
美術館と姫路城

<PRポイント>
姫路城の世界遺産登録を記念して選定された姫路城十景のひとつ。



<ビューポイント>
国登録文化財「芥田家住宅」前

<見えるもの>
旧野里街道の古いまちなみ

<PRポイント>
風情ある町家が立ち並ぶ通りです。灯籠を模した街頭や丸型ポストもまた昔懐かしい雰囲気を感じさせてくれます。

●神河町（3件）



<ビューポイント>
中村・粟賀町地区の旧生野街道

<見えるもの>
農村集落の佇まいが残るまちなみ

<PRポイント>
神河町中村・粟賀町地区内を走る銀の馬車道沿いには、まだまだ古いまちなみが残っています。県の景観形成地区の指定も受けているとのこと。



<ビューポイント>
砥峰高原の池付近

<見えるもの>
秋空と高原のススキ

<PRポイント>
ススキの中の青空、池に映る雲など、この季節、この場所でしかとれない一枚です！毎年、毎日違う景色を楽しめます。



<ビューポイント>
峰山高原リゾートの第2リフト終点付近

<見えるもの>
暁晴山とグレンデ

<PRポイント>
スキー場「峰山高原リゾート ホワイトピーク」のセンターコース及びマウンテンライン（第2リフト）の姿です。好天の日は遠く瀬戸内海の明石海峡大橋まで見渡すことができます。

●市川町（1件）



<ビューポイント>
浅野地区の尾根筋

<見えるもの>
清流市川と市川新橋周辺の集落風景

<PRポイント>
真ん中を流れる市川と東西を繋ぐ市川新橋を中心に、市川町の景色が堪能できる。

●福崎町（2件）



<ビューポイント>

春日山城跡

<見えるもの>

福崎の市街地

<PRポイント>

春日山城は、建武年間に築城され、播磨の守護赤松氏の幕下であった後藤三郎左衛門尉基明が初代城主として、現在の福崎町全域と姫路市、加西市の一部を統治していました。応仁の乱には、赤松政則の部下として出陣し、山名の軍勢を破って軍功を立てました。



<ビューポイント>

もちむぎのやかた付近の道路わき

<見えるもの>

「河童のガジロウ」で有名な辻川山公園

<PRポイント>

辻川山公園の池の中には、柳田國男の著書「故郷七十年」に登場する河童をモチーフにした河次郎（ガジロウ）がいます。また、柳田國男の生家をはじめ歴史ある建物が目白押しの場所です。

●相生市（2件）



<ビューポイント>
万葉の岬つばき園

<見えるもの>
瀬戸内海

<PRポイント>
瀬戸内海を遮るものなく一望できる貴重なスポット。朝昼夕方違った表情を楽しむ。



<ビューポイント>
遠見山公園

<見えるもの>
相生湾と造船所

<PRポイント>
遠見山公園からは、相生市南部の市街地や相生湾が一望できます。駐車場から、展望広場までは約15分で到着するちょっとしたハイキングコースになっています。

●たつの市（4件）



<ビューポイント>
市指定文化財「小林實家住宅土蔵」前

<見えるもの>
下川原商店街の古いまちなみ

<PRポイント>
播磨の小京都といわれるたつの市龍野地区の街中です。城下町として繁栄した頃の古いまちなみが残っていて、現在、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定が進められています。



<ビューポイント>
龍野城しころ坂前

<見えるもの>
龍野城の隅櫓

<PRポイント>
龍野城は昭和54年に復元され、本丸御殿には鎧・兜・刃・襖絵等の展示があります。隣には龍野歴史文化資料館があり、その西側に埋門があります。



<ビューポイント>
新舞子海水浴場付近

<見えるもの>
新舞子の干潟

<PRポイント>
播磨工業地帯に残されている新舞子の干潟。奥に工業地帯が見えて手前には自然が作り出す造形美。いつまでも残したい情景。



<ビューポイント>
室津漁港付近の道路わき

<見えるもの>
潮待ち・風待ちの港室津漁港

<PRポイント>
朝鮮通信使の寄港地、参勤交代時の西国大名の上陸地、であった室津です。三方が山に囲まれ、停泊地として最適な地形であったことがよくわかります。

●赤穂市（3件）



<ビューポイント>
旧坂越浦会所付近

<見えるもの>
北前船寄港地・坂越のまちなみ

<PRポイント>
市街地景観形成地区に指定されている坂越のまちなみは、一面石畳の道が続き、伝統的な町屋が立ち並び、歴史情緒溢れるまちなみが広がります。また、坂越のまちなみ等が北前船寄港地として日本遺産に登録されています。



<ビューポイント>
茶白山城跡

<見えるもの>
生島と坂越浦

<PRポイント>
茶白山より眺める景色は、生島（国指定天然記念物）、瀬戸内海の雄大な景色、日本遺産、坂越のまちなみを一望することができます。港町ならではの風景を楽しめます。



<ビューポイント>
JR赤穂駅前のお城通り

<見えるもの>
城下町を思わせるまちなみ

<PRポイント>
市街地景観形成地区に指定されているお城通り地区は、忠臣蔵のまちとして、城下町を思わせるまちなみです。

●宍粟市（1件）



<ビューポイント>
県景観形成重要建造物「本家門前屋」前

<見えるもの>
酒蔵通りのまちなみ

<PRポイント>
日本酒発祥の地「宍粟」において歴史ある酒蔵が並ぶ酒蔵通りは、昔懐かしい雰囲気を感じられます。

●太子町（1件）



<ビューポイント>
斑鳩寺東門付近

<見えるもの>
聖徳太子ゆかりの斑鳩寺と「富の小川」

<PRポイント>
平安時代にはあったとされる斑鳩寺とその傍を流れる富の小川です。共に当時から存在したとされ、歴史を感じられる風景です。

●上郡町（1件）



<ビューポイント>

星の広場

<見えるもの>

播磨科学公園都市の建築群

<PRポイント>

起伏ある山林を切り開いて開発された未来都市のシンボルゾーンをここから眺めることができる。発展の様子を定点観測するには絶好の場所である。

●佐用町（6件）



<ビューポイント>

平福の天神橋

<見えるもの>

宿場町平福の川端風景

<PRポイント>

歴史ある川座敷や土蔵群が川面に映るその景観は、近世宿場町の独特の雰囲気醸し出し、まるでタイムスリップしたかのよう。訪れた人々をノスタルジーへと誘います。



<ビューポイント>

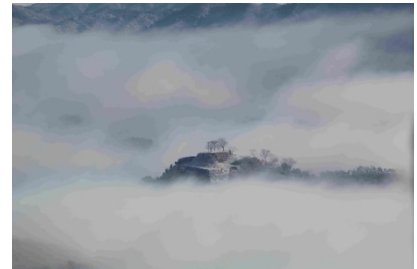
西はりま天文台南館付近

<見えるもの>

満天の星空

<PRポイント>

佐用町は県下で唯一「星空景観形成地域」に指定されています。大撫山の山頂に位置する西はりま天文台からは、他の照明に妨げられず美しい星空を楽しむことができます。



<ビューポイント>

西はりま天文台北館付近

<見えるもの>

雲海に浮かぶ利神城跡

<PRポイント>

雲突城とも佐用の天空の城とも呼ばれる利神城を俯瞰できる絶好ポイントだと思います。



<ビューポイント>

乙大木谷倶楽部（公民館）前の展望広場

<見えるもの>

乙大木谷の棚田

<PRポイント>

広大で、入りくんだ険しい地形に沿って作られた、約1000枚の棚田の造形美が、目の前に美しく映し出されます。秋の爽りを迎える頃には黄金色に輝く美しい風景を見ることができる。



<ビューポイント>

田和地区の農道

<見えるもの>

田和の棚田

<PRポイント>

野づら石積の棚田と白壁の土蔵のある風景。兵庫県と景観協定を結び景観を守っている。農林水産省 美の里づくりコンクールで入賞した。



<ビューポイント>

目高集落手前の道路わき

<見えるもの>

急傾斜地に張り付く目高集落

<PRポイント>

目高集落は急な斜面に寄り添うように民家が立っています。大部分の建物が茅葺屋根にトタンをかぶせたもので昭和40年代から変わらぬ景色を見せています。

●豊岡市（10件）



<ビューポイント>
田結川河口

<見えるもの>
川沿いに立ち並ぶ焼杉板のまちなみ

<PRポイント>
円山川河口域に位置する小規模な漁村集落である田結地区では田結川と一体的に構成された景観が見られる。



<ビューポイント>
但馬海岸道路の御待岬

<見えるもの>
日和山海岸と竜宮城のある後ヶ島

<PRポイント>
日和山海岸から但馬海岸道路に入り、最初のヘアピンカーブが御待岬。ここから日和山海岸、後ヶ島、犬ヶ岬が望めます。



<ビューポイント>
城崎温泉街の地藏湯橋

<見えるもの>
大谿川沿いの柳並木と太鼓橋

<PRポイント>
「歴史と文学といで湯のまち城崎温泉」の景観を形成する代表的な光景。川沿いには歴史的な木造3階建て建築物も見えます。



<ビューポイント>
大師山のロープウェイ山頂駅

<見えるもの>
城崎温泉街と円山川

<PRポイント>
城崎温泉の魅力は三方を山に囲まれた谷あいが発達した温泉街と円山川のゆったりとした水郷風景。ロープウェイ山上の大師山からは、日本海まで望める雄大な景色が広がります。



<ビューポイント>
ハチゴロウの戸島湿地管理棟

<見えるもの>
コウノトリが営巣する湿地

<PRポイント>
湿田を土地改良による乾田化する方針を改めたことにより、環境保全と一体となった景観保全を実現できている。



<ビューポイント>
竹野海岸沿いの道路わき

<見えるもの>
夜に見る猫崎半島の寝転ぶキューピーさん

<PRポイント>
竹野海岸の猫崎半島。よく見るとキューピーさんが寝込んでいるように見えます。夜に見ると漁火に照らされてとても幻想的です。



<ビューポイント>
港大橋

<見えるもの>
円山川河口

<PRポイント>
円山川は城崎を過ぎると川幅が広がり水の量も増え、大河の様相を見せてくる。港大橋からは、城崎付近のボート競技場から河口までの圧倒的水量を保つ静かな水面を望める。



<ビューポイント>
竹野川河口

<見えるもの>
北前船寄港地・竹野のまちなみ

<PRポイント>
竹野は昔、北前船の寄港地として栄えた町です。外壁に焼杉板を使った建物が多く、個性的なまちなみが残っています。



<ビューポイント>
出石地区永楽館の裏通り

<見えるもの>
皿そばで有名な出石城下町のまちなみ

<PRポイント>
そばを食べに出かけた出石で撮った1枚です。雪が残る1月の出石もまた趣があります。「そば」と「歴史的なまちなみ」はベストマッチの観光資源だと思います。



<ビューポイント>
市立出石資料館付近

<見えるもの>
土壁の酒蔵のあるまちなみ

<PRポイント>
地酒 楽々鶴 を銘柄とする出石酒造。土壁が出石の風情と歴史を感じさせます。

●養父市（3件）



<ビューポイント>
旧グンゼ八鹿工場事務所棟前

<見えるもの>
交通の要衝として栄えた歴史的まちなみ

<PRポイント>
商業で栄えた八鹿のまちは、各時代の流行を取り入れた家並みが観られる。写真は景観形成重要建造物の旧グンゼ八鹿工場事務所棟。



<ビューポイント>
大杉地区の農道

<見えるもの>
木造三階建ての旧養蚕農家集落

<PRポイント>
重要伝統的建造物群保存地区に選定された大杉地区。全国的にも珍しい木造3階建て養蚕農家住宅が多数残る。古民家の宿「大屋大杉」がオープンした。



<ビューポイント>
別宮の大カツラ付近

<見えるもの>
別宮の棚田

<PRポイント>
棚田100選には入ってはいませんが、美しい棚田です。氷ノ山などの山々も見えます。またすぐ近くに大カツラがあることでも有名です。

●朝来市（7件）



<ビューポイント>
鉱石の道神子畑ステーション

<見えるもの>
明延鉱山の神子畑選鉱場跡

<PRポイント>
明延鉱山の鉱石を選鉱する大規模な選鉱場の跡地。現在は、建屋は解体され、基礎部分のみが残るのみとなりましたが、日本の近代化に貢献した産業遺産として注目を集めています。



<ビューポイント>
姫宮神社手前の姫宮橋

<見えるもの>
生野銀山のトロッコ道

<PRポイント>
日本遺産認定の「鉱石の道」の構成文化財でもあるトロッコ軌道。当時は鉱山労働者はとても賃金が高く、全国から労働者が集まり、すごく活気があった地区だそうです。



<ビューポイント>
奥銀谷の国道429号付近の市道わき

<見えるもの>
旧鉱山町のまちなみ

<PRポイント>
生野銀山の鉱山町だった奥銀谷のまちなみです。この道路に沿って昔からの建物があります。口銀谷地区など周辺地区とともに国の重要文化的景観に選定されています。



<ビューポイント>
J R 竹田駅裏の虎臥城公園付近

<見えるもの>
竹田城下町の寺町通り

<PRポイント>
竹田城跡の麓にある寺町通りは 4 つの寺が並ぶ風情ある通りです。歴代の竹田城主に関連する供養塔や江戸時代に造られた石橋群など竹田の歴史を感じる通りとなっています。



<ビューポイント>
立雲峡第一展望台

<見えるもの>
雲海に浮かぶ「天空の城」竹田城跡

<PRポイント>
竹田城跡を遠方から見ることができ、雲海に包まれた城跡は、まさに「天空の城」。雲海は刻一刻と姿を変えるため同じ景色はほとんどなく、見る者を飽きさせません。



<ビューポイント>
竹田城跡天守台

<見えるもの>
城跡と山と川に挟まれた竹田城下町

<PRポイント>
建物の多くが黒い瓦で統一されたまちなみが一望できる。



<ビューポイント>
矢名瀬の旧山陰道わき

<見えるもの>
旧宿場町のまちなみ

<PRポイント>
矢名瀬は昔、旧山陰道の宿場町でした。現在の幹線道路である国道 9 号はまちの外側を通っているため、まちの内側には歴史的なまちなみが残っています。

●香美町（5件）



<ビューポイント>
余部鉄橋空の駅展望施設

<見えるもの>
日本海と余部の漁村集落

<PRポイント>
海に妻面を向けた家屋により構成された集落の眺めから、風の強い土地であることを感じさせられる景観。



<ビューポイント>
J R 鎧駅

<見えるもの>
鎧漁港と日本海

<PRポイント>
はじめて来たはずなのに、なぜか懐かしい鎧の風景。宮本輝の小説『海岸列車』の舞台です。青春 18 切符ポスターには、「なんでだろう、涙がでた」のキャッチコピーが。



<ビューポイント>
香住区県道 11 号線沿いの山番

<見えるもの>
訓谷浜

<PRポイント>
香美町香住区訓谷浜では昔はハマチやイワシの地曳網が行われていました。県道 11 号香美久美浜線沿いに山番という見張小屋が復元されており、そこからは訓谷浜が一望できます。



<ビューポイント>
岡見公園

<見えるもの>
香住漁港東港と日本海

<PRポイント>
香住の市街地が広がる陸繋島の先端。海を望む小高い丘にある岡見公園。香住の人々はここから海の様子や漁に出る船を見て暮らしていたそうです。



<ビューポイント>
小代区の道路わき

<見えるもの>
うへ山の棚田

<PRポイント>
日本の棚田 100選にも選ばれている棚田。山間に広がる絶景に心奪われ、誰しも写真を撮らずにはいられない。

●新温泉町（6件）



<ビューポイント>
湯村温泉街の繁栄橋

<見えるもの>
春來川沿いの柳並木と温泉街の夜景

<PRポイント>
温泉街の中心部を流れる川がつくる景観を生かし、川辺には遊歩道や足湯が整備され来訪者ににぎわう。日没後はライトアップされ情緒豊かな景観を楽しむことができる。



<ビューポイント>
七坂八峠展望台

<見えるもの>
居組漁港と日本海

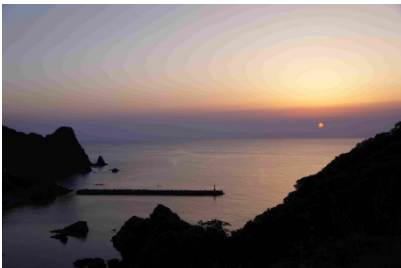
<PRポイント>
山陰海岸を一望できる七坂八峠の絶景ポイントのひとつ。夏の夜には水平線に連なる漁火により幻想的な景観が広がる。



<ビューポイント>
浜坂県民サンビーチ「松の庭」

<見えるもの>
クロマツ群と日本海

<PRポイント>
日本海、砂浜と平行するように立ち並ぶクロマツ群は、それらとともに雄大な自然景観を形成し、日本の白砂青松 100選にも選定されている。



<ビューポイント>
城山園地

<見えるもの>
諸寄漁港と夕日の風景

<PRポイント>
諸寄漁港を眼下に車で行けます。春には斜面に咲く桜と海。季節によって夕日が落ちる場所が異なり、いつでも楽しめます。



<ビューポイント>
味原小径

<見えるもの>
西光寺と味原川

<PRポイント>
味原川は浜坂にとって大切な川です。川沿は味原小径と呼ばれ、古い石垣が続き、風情ある景観を残しています。清流会はこれを後世に伝えるため日々活動に励んでいます。



<ビューポイント>
諸寄漁港沿いの道路わき

<見えるもの>
北前船寄港地の面影を残す建物

<PRポイント>
諸寄は北前船の寄港地として栄えた町で、町の中に当時の面影を伝える建物が点在しています。

●篠山市（8件）



<ビューポイント>
篠山城跡の天守台

<見えるもの>
丹波富士と称される高城山

<PRポイント>
篠山城跡の天守台から、波多野氏の居城であった八上城跡のある高城山を望む景観です。



<ビューポイント>
河原町妻入商家群の通り

<見えるもの>
妻入商家の古いまちなみ

<PRポイント>
河原町には、5～8mほどの狭い間口と非常に深い奥行きで妻入商家が軒を連ねます。千本格子や荒格子、袖壁、うだつなどが往時の城下町の姿を今に伝えています。



<ビューポイント>
武家屋敷安間家史料館前

<見えるもの>
茅葺長屋門の武家屋敷群

<PRポイント>
今も住み続けています。



<ビューポイント>
兵庫陶芸美術館の展望デッキ

<見えるもの>
上立杭集落と里山

<PRポイント>
展望デッキからは上立杭地区が一望でき、春は新緑、秋は紅葉と四季折々の景観が楽しめます。特に秋は山全体が紅葉で彩られ、そのスケールの大きさに圧倒されます。



<ビューポイント>
上立杭地区「最古の登り窯」前

<見えるもの>
丹波焼の登り窯と落葉広葉樹の里山

<PRポイント>
今田町立杭地区にある丹波焼最古の登り窯。大修復され、訪れる人が増えています。



<ビューポイント>
丸山公民館前

<見えるもの>
古民家の宿で注目を浴びる丸山集落

<PRポイント>
谷奥の山裾に形成された丸山の集落景観を一望する。公民館前に設置されたベンチから村人の心づかいが伝わってきそう。



<ビューポイント>
安口東倶楽部（公民館）前

<見えるもの>
農村家屋の残る福住のまちなみ

<PRポイント>
福住重要伝統的建造物群保存地区の農村家屋のまちなみを愛でる主要ビューポイント。

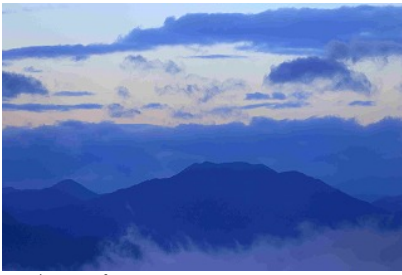


<ビューポイント>
味間奥地区の農道

<見えるもの>
新緑の茶畑

<PRポイント>
県内随一の茶どころとして有名な味間地区は茶畑が広がる茶の里の雰囲気が味わえ、新茶の季節には茶まつりが催され、茶摘み体験もできます。

●丹波市（5件）



＜ビューポイント＞
黒井城本丸跡

＜見えるもの＞
丹波の山々と雲海

＜PRポイント＞

黒井城は丹波の赤鬼として名を馳せた赤井直正の居城。現在も戦国期の豪壮な石垣や縄張が残されています。雲海の発生率も高く、城跡から望む雲海は絶景です。



＜ビューポイント＞
川代公園の遊歩道

＜見えるもの＞
川代公園を流れる篠山川に架かる吊り橋

＜PRポイント＞

全長 90m の歩行者専用吊り橋。白亜紀の地層と篠山川の水流が織りなす景観は必見。四季折々の背景が楽しめるが、特に桜と紅葉の季節がおすすめ。

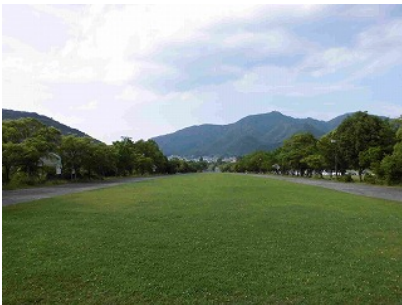


＜ビューポイント＞
丹波市役所柏原支所前

＜見えるもの＞
大ケヤキがつくる自然の橋「木の根橋」

＜PRポイント＞

樹齢千年とも推定される大ケヤキの根が、幅 6m の奥村川をまたいで自然の橋をかたちづいています。四季の変化とともに丹波柏原のシンボルとして親しまれています。



＜ビューポイント＞
丹波の森公園 生活創造センター前

＜見えるもの＞
芝生広場と背後の山々

＜PRポイント＞

丹波の森公園のエントランスの芝生広場の先に、柏原のまちなみが続き、背後には柏原の山々が広がる。絵に描いたようなみごとな景色が楽しめます。



＜ビューポイント＞
やぐら公園付近の道路わき

＜見えるもの＞
城下町の面影を残す古いまちなみ

＜PRポイント＞

旧城下町時代からの伝統を引き継ぐ町家型住宅をはじめ、日本陣や武家屋敷、洋風建築など歴史的建築が多く立地し、日本瓦葺き、格子などに代表される歴史的まちなみが残されている。

●洲本市（3件）



<ビューポイント>
成ヶ島成山山上広場の展望台

<見えるもの>
青い海に延びる砂州「淡路橋立」

<PRポイント>
成ヶ島は淡路島の由良港の沖に延びる細長い無人島です。島の北側にある山に登ると、龍のように延びる砂州が見えます。絶景なのに誰もいない（落ち着いた時間を過ごせる）ところがまた良いです。



<ビューポイント>
洲本城跡の天守台

<見えるもの>
洲本の城下町と大浜海岸と先山

<PRポイント>
洲本市出身の朝比奈彩さんも大好きな景観スポット。海と空、まちなみをお殿様気分で見渡せる解放感あふれる風景。



<ビューポイント>
大浜海岸の砂浜

<見えるもの>
白砂青松の海岸

<PRポイント>
中心市街地から徒歩で5分。松並木と白砂が印象的な海岸です。

●南あわじ市（5件）



<ビューポイント>
沼島散策周遊道路

<見えるもの>
国生み神話ゆかりの場所「上立神岩」

<PRポイント>
古事記の国生み神話を想像させる奇岩。イザナギ、イザナミの持つ鉾先から滴り落ちた水滴がそのまま固まったような形をしている。



<ビューポイント>
大鳴門橋記念館の屋上展望台

<見えるもの>
大鳴門橋と鳴門海峡

<PRポイント>
おいしい創作料理を提供することでも有名な南あわじ市の絶景レストランのある大鳴門橋記念館から見える景観です。眼前に広がる四国へと延びる「阿波への路」は必見です。



<ビューポイント>
大見山「若人の広場公園」

<見えるもの>
戦没学徒記念館記念塔と福良湾

<PRポイント>
見晴らしの良い「大見山」にある若人の広場公園。時季が合えば大鳴門橋に沈む夕日も眺められる。南淡路の観光名所が見渡せる。



<ビューポイント>
大見山中腹の道路わき

<見えるもの>
阿万百軒堀地区の田園風景

<PRポイント>
海風を受けてタマネギ、レタスなどが育つ場合は、まるでパッチワークの様で、四季毎に模様を変えていきます。



<ビューポイント>
上町公会堂北側の路地

<見えるもの>
石積み塀が特徴的なまちなみ

<PRポイント>
初めてここを訪ねたときは、どこか南国の世界に迷い込んだような感覚にとらわれました。阿万地区に散見されるこの石積み塀は、県内のどこにもない景観だと思います。

●淡路市（6件）



<ビューポイント>
道の駅あわじの護岸施設付近

<見えるもの>
明石海峡大橋

<PRポイント>

晴れた日の青空と海の青、淡路島と神戸市を結ぶ明石海峡大橋の白、淡路島でしか味わえない絶景です。



<ビューポイント>
あわじ花さじき「天空の花園」

<見えるもの>
花さじきと青い海と空

<PRポイント>

入り口からのなだらかな坂道を登りきったその瞬間、一気に眼下に広がる青い空と海！思わず、うわっーと叫びたくなります！



<ビューポイント>
淡路夢舞台の百段苑

<見えるもの>
百段苑と大阪湾

<PRポイント>

淡路夢舞台から公園全体と大阪湾を見渡す感じで撮影してみました。



<ビューポイント>
本圓寺付近の農道

<見えるもの>
播磨灘の夕焼けとそれを映す石田の棚田

<PRポイント>

元々淡路島西部の海岸沿いはサンセットラインと呼ばれ夕陽・夕焼けの名所です。石田の棚田から見下ろす夕焼けは田植えの時期には水面に映えて更に美しい風景となります。



<ビューポイント>
淡路景観園芸学校の校舎屋上

<見えるもの>
自然と調和した淡路景観園芸学校

<PRポイント>

淡路景観園芸学校という学校でありながら、自由に見学が可能で景観を楽しむ場所です。まちの中では感じられない、自然と建築物の調和を感じ五感が研ぎ澄まされます。



<ビューポイント>
江井郵便局付近

<見えるもの>
線香の匂いが香る古いまちなみ

<PRポイント>

海運で富をなした住田家があった江井地区は、幕末には淡路の富の7割があると言われました。被災して撤去されましたが、当時の名残が残っています。

— 番外編 —

●芦屋市



<ビューポイント>
六麓荘の一角

<見えるもの>
緑豊かでゆとりのある住宅街

<PRポイント>
高級住宅地として知られる六麓荘は、東洋一の別荘地をつくろうとまちづくりが始まりました。住民間で建築協定が締結されており、まさしく住民で守り育ててきた景観です。

●伊丹市



<ビューポイント>
みやのまえ文化の郷「工芸センター」前

<見えるもの>
都心に残る江戸時代のまちなみ

<PRポイント>
伊丹市郷町には江戸時代の町家である旧石橋家・旧岡田家住宅、工芸センター・美術館等で構成する“みやのまえ文化の郷”があります。酒造業を中心に城下町として隆盛を誇った地区で、都市的・歴史的な景観が混在、共存しています。

●西脇市



<ビューポイント>
南旭町主婦の店前

<見えるもの>
横尾忠則が描いた「Y字路」

<PRポイント>
日本を代表する画家の横尾忠則は、幼少期を過ごした西脇に点在する「Y字路」を精力的に描いてきました。「Y字路」は西脇市を代表する景観となっています。

●小野市



<ビューポイント>
市民広場

<見えるもの>
新都市の公共施設群

<PRポイント>
市民広場の周囲に、多目的ホールや図書館などの特徴的なデザインの建物がゆったりと並んでいます。また、すぐ近くに小野大池もあり、散策の休憩にぴったりのビューポイントです。

●加東市



<ビューポイント>
播磨中央公園の展望台

<見えるもの>
六甲山系から淡路島までの大パノラマ

<PRポイント>
五峰山麓の丘陵地帯にある播磨中央公園の展望台からは、東は六甲山系や向山、南は淡路島や雌岡山までの大パノラマを眺めることができます。視界が開け、とても気持ちのいい場所です。

●姫路市



<ビューポイント>
網干なぎさ公園

<見えるもの>
姫路臨海部の工場夜景

<PRポイント>
網干高校の近くにある網干なぎさ公園からは、きらびやかな工場夜景を望むことができます。地元では有名な夜景スポットです。

●相生市



<ビューポイント>

相生(おお)の大谷川に架かる中之区橋

<見えるもの>

天満神社周辺の古いまちなみ

<PRポイント>

相生湾内にある相生地区は、古くは「風待ち」の漁港として、その後造船の町として繁栄しました。今でも昭和レトロなまちなみが残っており、県の景観形成重要建造物も2件あります。

●たつの市



<ビューポイント>

揖保川右岸の東山公園橋付近

<見えるもの>

吊り橋(人道専用)と小嵐山

<PRポイント>

つつじと紅葉で有名な、小嵐山の山裾一帯「東山公園」周辺の景観です。東山公園橋を渡ると、吊り橋特有の揺れを感じることができます。

●宍粟市



<ビューポイント>

宍粟市役所の対岸にある愛宕神社

<見えるもの>

揖保川と出石(いだいし)の船着き場跡

<PRポイント>

江戸時代に水路が開かれ、高瀬舟による水運の中心となったのが山崎の出石です。愛宕神社からは揖保川と船着き場跡、城下町として栄えた山崎のまちなみが一望できます。

●新温泉町



<ビューポイント>

上山高原の山頂

<見えるもの>

ススキと山並み

<PRポイント>

火山活動でできた上山高原は、新緑、ススキ、紅葉など四季折々の景色を楽しむことができます。また、山頂まで何筋かの遊歩道が続いており、高山植物やイヌワシといった貴重な動植物など豊かな自然に触れることができます。